

宇宙食ワーキンググループ

ビジョン【活動の主旨】(目指すゴールのイメージ)

大分県下の特産品を原料に宇宙食開発を行います。かつての一村一品運動のような展開を参考に志向し、商品のラインナップが広がることを目指します。また開発に際し、技術的な要素を共有し、さらには会員で共用できる有料製造施設等を創設することを目指します。宇宙食を県内で持続可能な産業として社会実装することができるよう事業化検討へステップアップできるような活動に取り組めます。

■長期ビジョン

<今後のロードマップ>

- ・宇宙食開発について、短期的には宇宙食としてのお土産品開発だが、長期的には今後の2050年食糧危機を見据えた息の長いビジネスモデルに昇華させていくことが肝要(お土産品開発目的の打上げ花火的に実施することも別に構わないが、持続的なビジネスモデルに発展する可能性は低いため、特に行政からの支援は無いものとする)
- ・宇宙と地上における食の共通課題(必要な栄養分を手軽に食べやすく補給できること、おいしければなおよし)を商品開発段階から意識し、最終目標は「宇宙食」を見据えつつも、災害食や介護食、完全食など既存市場への投下を経営戦略の主眼に置くこと
- ・上記の思想に共感する事業者がWGに参画し、宇宙食視点からの食のイノベーションを創出(宇宙食WGを食のイノベーションのプラットフォームに)

■中期ビジョン(2年～5年)

- ・共有可能な宇宙食製造工場建設
- ・一般社団法人スペースフードジャパン?「SFJ」
- ・各社、事業所が一緒に使うことができる宇宙食の開発及び製造工場の建設

■短期ビジョン(2022年度)

- ・今期実施計画の作成